

| | |
|----------------|----------------|
| 科目名・授業形態 | 京都とイノベーション【対面】 |
| 開講日程(学期・曜日・講時) | 木曜日 3講時 |
| 担当者 | 宮原佑貴子 |

| | | | |
|------------|---|------------------------------------|---|
| 副題 | 京都の伝統的技術と現代の取り組み | | |
| 授業の到達目標 | ・京都の伝統的技術とその背景について知識を得る。・企画考案の手法を学び、実践する。・オリジナルの企画提案とプレゼンテーション発表をおこなう。 | | |
| 授業の概要 | 京都には、染織や工芸など様々な伝統的技術が培われてきた。本授業では、事例をもとに京都の伝統的技術と現代の取り組みについて知り、現代から未来へ受けつなげていくための課題解決となる企画考案を実践する。企画考案に当たっては、調査、分析、創造、提案のプロセスを経験し、広い分野に活かすスキルを習得する。 | | |
| 授業の計画 | 第 1回【12/ 7(木)】 | 京都の伝統的技術と現代の取り組み～京都の伝統染織産業の取り組み事例～ | |
| | 第 2回【12/14 (木)】 | 京都の伝統的技術の調査と分析 | |
| | 第 3回【12/21(木)】 | 事例研究: ゲストトーク ～イノベーションで京都の伝統を | |
| | 第 4回【 1/11(木)】 | 調査と分析によるアイデアソーシング、ディスカッション | |
| | 第 5回【 1/11(木)】 | 企画考案: 企画提案書の作成 | |
| | 第 6回【 1/18(木)】 | プレゼンテーション、講評 | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 |
| | 授業への積極的参加 | 30% | 授業内での発言、ディスカッションへの積極的な参加をおこなうことができる |
| | 中間提出物(調査、分析、レポート) | 30% | 演習によって習得した内容を自身の観点で述べるることができる |
| | 最終提出物(企画提案書) | 40% | 提示したプロセスを着実にこなさない、オリジナル性のある提案をおこなうことができる。 |
| 履修生へのメッセージ | これまで見聞きしたことのある伝統的技術であっても企画提案の作業を通して新しい視点を加え、その企画を理論的に説明できる提案力を身につけます。伝統的技術を使った商品やイベントの事例等、日ごろから広い視野を持ってリサーチし、授業で活かしてください。授業参加者が互いに意見を出し合い、ブラッシュアップしながらアイデアを練り上げていきましょう。 | | |
| 教科書 | 必要なし | | |
| 参考書 | 授業内で適宜紹介する | | |